

「養徳学舎のあり方検討会」の概要

構成： 学識経験者（行政経営、人材教育）
利用者代表（学舎 OB、高校、企業）

開催日： H18 年 10/3, 10/31、11/28、12/22 の4回開催

検討結果：

養徳学舎は、様々な分野で県の発展をリードする多くの人材を輩出

東京圏には特徴的な大学が集積しており、今後も需要は堅調

今日的な課題に対応する「新しい機能」を付け加えつつ学舎を建て替え、
機能の発展的更新を図るべき

秩序ある共同生活を通じて、自律的な人材を育成することが求められる

東京圏と関わりを持つ人材の育成拠点として、社会人も含めた交流機能
などを拡充

県としても、諸機能や意思決定機関が集積する東京圏へは戦略的なアプ
ローチが必要

寄付金を広く募るとともに、他の財源についても検討が必要

県が東京に有する資産を効率的に活用する観点から、資産の統廃合を含
めた検討が必要

県では、この検討結果を参考として今後の方針を策定し、速やかに現実に向
けて努力すること